

1815

第一九三號

閣

主務局長
受領出
大臣官房
了結

明治三十九年六月十日
明治三十九年六月十日
明治三十九年六月十日
明治三十九年六月十日

六月十日

聯帶局長

裁

決

大臣

件

番

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

受領

樺太南部輕便鐵道布設關云件

紅

次官



高級副官



主計

主務副官



主務局長



主務課長



主務課員



聯帶課長



審案筆記者

主務課長

鶴

70

高級副官ヲ擇ミ守備隊司令官、

照会案

今般軍需品輸送ニ便セシカ爲メ、コルサコ、ウラジ
ミロフカ間ニ輕便鉄道布設ノ準備トシテ、鉄道
大隊ヲ將校一名ニ士以下十二名ヲ貴地ニ派遣
シ別命ノ任務ヲ与ヘ輕便鉄道布設ノ調査
ヲ行カシメラシメ、条可成便宜ヲ与ヘラシ度
逐テ本件ノ費用ハ臨時事件費ヲ支弁ノ義ト爲
ル相成度

陸軍省 満發第二三三八號

六月八日

陸軍省 満發第二三三八號

本件派遣員様大陽在中、係給養費約百枚七月ノ見込。
 付増額ノ要ニ堪ハ一般記録内釋有相成。

陸

軍

調査要領

一、樺太南部ニ於ケル軍需品ノ輸送ニ便セシメ
 爲メ、コルサコフ、ウラジミロフカ間ニ輕便鐵道
 ヲ敷設ス

二、前項鐵道敷設調査ニ關シテ、樺太守備隊司令
 部ニ協議スルヲ要ス

三、此鐵道ハ「コルサコフ」~~ウラジミロフカ~~兩地ヨリ日
 ヲ約十噸ノ輸送ヲナスヲ目的トス

四、此鐵道ハ汽罐車式若ハ馬車式、何レカ有利
 ナルヤヲ概子左ノ事項ニ據リ詳細ニ比較調

査スルヲ要ス

但汽鎔車式ニ在テハ鐵道大隊格納ノ材料ヲ
用ヒ、馬車式ニ在テハ十二磅單軌条ヲ使用ス
ルモノトス

(一) 軌道及輪轉材料ノ員數

但馬車式ニ在テハ軌隔並ニ台車ノ積載量
ヲ調査スル

(二) 建築ニ要スル人負器具材料

但枕木及橋梁用材ハ可成現地ニ於テ

調弁スルモノトシテ調査スル

(三) 右ニ要スル費用及竣工期日

(四) 運轉及俾給并ニ職負等ニ要スル一ツノ終

費(維持費)

其調査ニ要スル日数ハ往復共約一ヶ月半トモ若シ
調査進捗上延期ノ必要アルハ更ニ稟申シ
要ス

六、樺太駐在間、給養ハ同地守備隊司令部ニ
請求スルモノトス

七、機関車式ニ在テハ冬期ノ設備ヲ要セス